

# 週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

## ～清流が繋ぐ未来の森造成運動～ —10/28(土) 岐阜県白川町にて—

10月28日(土)、岐阜県白川町の笹平高原にて「森・川・海～清流がつなぐ未来の森造成運動」が開催された。今年で20回目の開催となり、漁業関係者や関係団体、行政関係者など約60名が参加。冒頭、三重漁連の服部常務は「今回の活動が自然に対する感謝の気持ちを一層深く再確認する機会になることを祈念します。」と挨拶し、白川町をはじめとする地元関係者の協力へ感謝の意を述べた。当日は、小雨の降る中でしたが、伐採や下刈、枝打ちなどの森林整備のほか、桑名市立城東小学校の児童ら約20名による植樹も行われた。



服部常務あいさつ(写真上段)

森林整備の様子(写真下段)

## 県内各地で水産関係イベント —11/4(土)南伊勢・尾鷲にて—

11月4日(土)、奈屋浦市場(南伊勢)において、『おさかなフェスタ南伊勢』、尾鷲市魚市場では『おわせ魚まつり』が開催された。

『おさかなフェスタ南伊勢』は、三重外湾漁協、南伊勢町などで構成する実行委員会が、魚食普及・PRを目的に開催しているもので、今年で4回目の開催となった。

当日は、鮮魚や干物、寿司など地元自慢の美味しいグルメが勢揃いし、訪れた来場者を楽しませた。

その他、三重外湾漁協が地元で揚がった“サバ”を使って開発したオリジナル商品「鯖一ガー(さばーがー)」の販売や魚食リーダーによる料理教室、魚のつかみ取りなども人気を集めた。加えて、南伊勢町神前浦で養殖されている“伊勢まぐろ”を使用した『神前井』の販売ブースも設置され、町内の旅館や飲食店らがそれぞれの神前井を出品し、買い求める人達で賑わった。

尾鷲魚市場での『おわせ魚まつり』は、魚離れが進む若い世代を中心に、魚の魅力をもっと感じてもらおうと、三重県尾鷲市尾鷲港産地協議会が開催しているもの。

7 回目の開催となる今回も、お寿司やお刺身、大敷汁、あおさの味噌汁、魚ごはん、干物などを無料で振る舞い、その食材の魅力を PR した。

さらに体験イベントとして、定置網漁業体験やマダイの給餌体験、干物作り体験教室など、多くの催しがあり、子どもを中心に人気を集めていた。



↑ 神前井の販売ブース（南伊勢）



↑ 来場者で賑わう「おわせ魚まつり」(尾鷲)

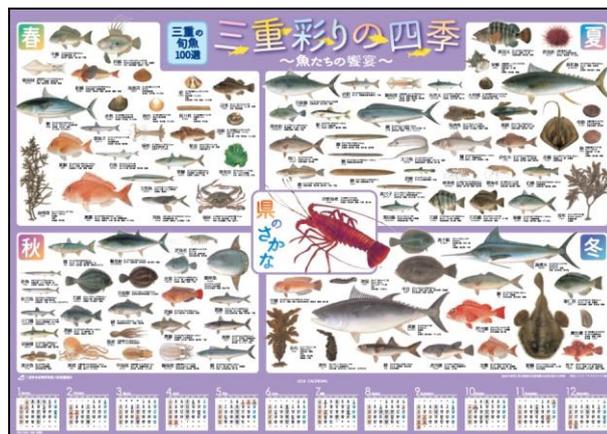
### 2018 年版お魚カレンダー完成

2018 年版おさかなカレンダーが完成した。このカレンダーは魚食普及や地産地消を促す目的で毎年作成しており、各浜及び県内公立の小中学校他に配布する予定。

今年のおさかなカレンダーのタイトルは、三重県水産物消費拡大促進協議会が会員や各浜に募集をし、三重県信

用漁業協同組合連合会・尾鷲支店が応募した「三重彩りの四季～魚たちの饗宴～」が選ばれた。

おさかなカレンダーを活用し、季節を彩る三重の魚を知ってほしいと当会担当者らは期待している。



【おさかなカレンダーについてのお問合せ先】

三重県水産物消費拡大促進協議会（担当：林）

TEL：059-228-1205

【主な予定】

○11月10日（金）

漁連理事会（津）

○11月11日（土）

農山漁村のつどい（津）

○11月14日（火）

三重県定置漁業研究発表会（尾鷲）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。